

富山くすりコンソーシアム・日薬連品質委員会交流会

日薬連品質常任委員会の委員の研鑽を目的に、2025年3月5日に富山県を訪問し、行政および富山薬業連合会（富山薬連）との意見交換、並びに富山県薬事総合研究開発センター（薬総研）の視察を行った。

薬総研にて、富山薬連事務局が進行役となり、日薬連、富山県庁および薬総研とで活発な意見交換が行われた。富山県の医薬品産業の概要や、品質向上への取り組み、人材育成策などについて説明があった。特に、富山県が推進する「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムの活動が注目を集めた。このコンソーシアムは、産官学の共創プラットフォームとして、医薬品産業の振興を目的とした様々な事業を展開していた。

また、薬総研の視察も行った。創薬研究開発センターでは最新の分析機器を、製剤開発支援センターでは原薬から包装までを一貫して試作できる製剤機器を有しており、企業が自社の研究開発にこれらの設備、さらにセンター職員の専門的なサポートを活用できる環境であった。これらの施設は、企業が新しい医薬品の研究開発を行う上で重要な役割を果たしていた。

意見交換では、昨今の品質問題事案、さらに将来の医薬品産業の在り方について、人材確保から医薬品産業の育成まで、幅広い分野で活発な議論が行われた。また、日薬連のGQP/GMP研究会についても意見が交わされ、富山開催ニーズがあることが明らかとなった。

今回の訪問を通じて、富山県の医薬品産業への取り組みや、産官学連携の重要性について理解を深めることができた。今後の日薬連品質委員会の活動にもこの経験を活かしていきたいと考えている。